

授業改善書

科目名	欧米経済事情
担当者	相沢幸悦

授業の概要

欧米経済事情ということで、欧米経済を比較するうえで重要な経済理念について講義しました。アメリカの経済理念は、競争原理を徹底的に機能させる市場原理主義といわれるものであり、ヨーロッパは、市場原理を機能させながら、公平性・公平さ、格差の是正に留意して経済運営をおこなう社会的市場経済というものです。ちょうどアメリカでは大統領候補選びがおこなわれていましたので、民主党のクリントン候補、共和党のトランプ候補の考え方の違いについて講義しました。ヨーロッパでは、6月23日に、イギリスのEU離脱を問う国民投票が行われましたので、その本質と行方について私の考え方を講義しました。

授業の問題点

欧米経済事情という講義ですので、欧米に関わる経済事情について講義しようとしたのですが、市場原理主義と社会的市場経済原理の比較だけに終わってしまいました。結局は、アメリカ経済の歴史と現状、ヨーロッパ経済の特徴ということにならざるをえません。ヨーロッパ経済にしても、中心は、やはり欧州連合(EU)の進展と問題点ということになり、あとはドイツやフランス経済など各国別の経済にならざるをえません。このように欧米経済事情というのは、多岐にわたりますので、残念ながら、やはり経済理念の対比ということにならざるを得ません。

授業改善の課題・方策

ちょうどイギリスのEU離脱問題についての国民投票がありましたので、詳しく講義したうえで、学生に、離脱したほうがいいのか、残留したほうがいいのか質問しました。さすがに、現実が発生している重要な国際問題ですので、学生は、離脱、残留の立場で答えてくれました。なるべく、アメリカとヨーロッパに関する新聞や雑誌記事などを配布して、現実の問題の本質を明らかにするような講義を行いたいと思います。学生に自分の頭で考えてもらうように、学生に対して適宜、質問していきたいと思います。なるべくわかりやすく講義するために、しっかりと勉強していきます。

その他

--